

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和3年度

施策コード	611	施策	土地利用誘導と良好な景観形成
管理事業	まちづくり計画事業	所管部局	都市計画部

1	所管室課	都市計画室	事業名	まちづくり活動支援事業		
事業概要						
南吹田地域まちづくり、まちづくり活動支援						
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点	
・アドバイザー派遣回数 令和元年度…9回、令和2年度…0回、令和3年度…0回		決算額（千円）	0	0		
		一般財源の比率（%）	0.0	0.0	※課題があるものは■	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性	
		・地域の特性を活かした市民主体のまちづくりを推進するため、アドバイザーの派遣や職員による出前講座の実施などにより、まちづくりに関する情報の提供や活動の支援を行ってきた。アドバイザー派遣は地域特性を活かしたまちづくりの推進には有効な手法であり、市民が地域課題の共有をきっかけにまちづくり活動をはじめようとする際にはいつでも派遣要請に対応できるように事業の継続が必要である。また、支援の手法については、アドバイザー派遣を含め、さらに検討する必要がある。			今後の実施計画の方向性・内容	継続

2	所管室課	都市計画室	事業名	景観まちづくり推進事業		
事業概要						
景観まちづくり推進						
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点	
・景観形成地区の追加指定数：4地区（累計32地区） ・景観まちづくり条例に基づく事前協議・届出受付件数：340件 ・景観アドバイザー会議回数：23回（73件） ・吹田市屋外広告物条例に基づく許可件数：444件 ・吹田市違法屋外広告物除却促進連絡会による、簡易屋外広告物（※）の除却枚数：109枚（※はり紙、はり札、立て看板、広告旗） ・第4回吹田市吹田市景観まちづくり賞の表彰 ・吹田市景観まちづくり計画の改定 ・吹田市屋外広告物ガイドラインの作成 ・吹田市ホームページに掲載する屋外広告物規制マップのページを作成		決算額（千円）	2,734	9,831		
		一般財源の比率（%）	59.2	16.3	※課題があるものは■	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性	
		・制度や取組について、市民・事業者への周知、理解、意識向上に向けてより積極的に事業を推進し、取組への評価を行う必要がある。 ・景観まちづくり推進に向け、公共事業についても、庁内関係部局への啓発、情報共有、連携が必要である。 ・屋外広告物の表示（設置）や屋外広告業に関する制度について、事業者及び庁内関係部局への周知が必要である。			今後の実施計画の方向性・内容	継続

3	所管室課	都市計画室	事業名	都市計画施設整備費積立事業		
事業概要						
都市計画施設整備費積立						
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点	
都市計画施設整備基金への積立 1,005,380千円		決算額（千円）	1,397,285	1,005,380		
		一般財源の比率（%）	99.9	99.9	※課題があるものは■	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性	
					今後の実施計画の方向性・内容	継続

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和3年度

施策コード	611	施策	土地利用誘導と良好な景観形成
管理事業	まちづくり計画事業	所管部局	都市計画部

4	所管室課	都市計画室	事業名	都市計画推進事業	
事業概要					
都市計画審議会運営、都市計画情報デジタル化推進、都市計画マスタープラン					
活動実績					
【キャッシュレス決済の本格導入による拡充】					
都市計画審議会運営事業・都市計画マスタープラン事業					
・都市計画審議会開催回数					
令和元年度・・・3回、令和2年度・・・3回、令和3年度・・・2回					
・常務委員会開催回数					
令和元年度・・・0回、令和2年度・・・1回、令和3年度・・・2回					
都市計画情報デジタル化推進事業					
・地図情報システム閲覧回数					
令和元年度・・・30,385回、令和2年度・・・33,735回、令和3年度・・・40,275回					
		年度	R2	R3	評価の視点
		決算額（千円）	6,359	10,245	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割 □ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 □ 持続可能性
		一般財源の比率（%）	100.0	100.0	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画の方向性・内容
		・市民や事業者等への都市計画情報の提供については、平成28年度からクラウドサービスを利用した検索機能のある地図情報システムの運用を開始し、システム閲覧数は増加傾向にあるが、窓口対応等に係る業務は依然多く、その効率化に向け更なる検討が必要である。			継続
		・吹田市都市計画マスタープランに示す、都市空間の将来像実現に向けて、必要に応じて都市計画変更等を行うなどの検討を行っている。			

5	所管室課	計画調整室	事業名	千里ニュータウンまちづくり事業	
事業概要					
近隣センター活性化再生支援、北千里駅周辺活性化支援、千里ニュータウンまちづくり広域連携					
活動実績					
(1) 北千里駅前地区及び竹見台・桃山台近隣センター地区に係る市街地再開発事業の検討地権者等と協議・調整を行い、民間施行の市街地再開発事業の実現に向けた検討を実施した。					
(2) 北千里駅前地区再開発事業に係る環境影響評価					
吹田市環境まちづくり影響評価条例に基づき、提案書の作成、現地調査を実施した。					
(3) オープンスペース等の譲渡に伴う維持管理					
竹見台・桃山台近隣センターオープンスペース等について、舗装の修繕等、維持管理を実施した。					
(4) 千里ニュータウンにおけるまちづくり活動等の支援					
千里ニュータウンでまちづくり活動を行う市民団体へ、広報活動やイベント運営の支援を実施した。					
(5) ポータルサイトの管理運営					
千里ニュータウンに関する情報を集約した、ポータルサイト「千里ニュータウン情報館」を適切に管理運営し、サイト内情報のさらなる充実や発信機能の強化を図った。					
		年度	R2	R3	評価の視点
		決算額（千円）	13,836	40,373	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割 □ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 ■ 持続可能性
		一般財源の比率（%）	91.7	35.2	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画の方向性・内容
		(1) に関しては、地区センター及び近隣センターの再生、活性化に向けた民間施行の市街地再開発事業を進めるにあたり、地権者の合意形成を図るとともに、事業費の検証を行い、財源確保に努めなければならない。また、北千里駅前地区においては、駅前としての機能誘致をリードしていく必要がある。			継続
		(4) に関しては、千里ニュータウンで活動する市民団体に対し、持続的な支援の在り方を探る必要がある。			(4) については、引き続き関係機関と連携し、広域的交流事業を支援する。

6	所管室課	計画調整室	事業名	都市機能検討事業	
事業概要					
都市機能検討					
活動実績					
立地適正化計画の趣旨に沿い、都市機能誘導区域を基本としたまちづくりについて具体的に検討し、持続可能な都市・地域の形成に向けたまちづくりに取り組む。					
令和3年度は、令和2年度にJR吹田駅南口周辺将来構想検討会で成果として取りまとめたJR吹田駅南口周辺ランドデザイン（案）を同検討会でブラッシュアップするにあたり、基礎調査やブラッシュアップ（案）の作成を行った。					
		年度	R2	R3	評価の視点
		決算額（千円）	0	1,595	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割 ■ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 □ 持続可能性
		一般財源の比率（%）	0.0	100.0	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画の方向性・内容
		地域特性を重視しながら、社会経済情勢等の動向に柔軟に対応するため、都市計画マスタープランに沿って、適切に各種都市計画の運用を図る必要がある。			継続
		検討区域に対するフォローアップが課題。			

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和3年度

施策コード	611	施策	土地利用誘導と良好な景観形成
管理事業	まちづくり計画事業		所管部局 都市計画部

7	所管室課	計画調整室	事業名	都市計画推進事業			
事業概要							
都市計画マスタープラン							
活動実績							
【都市計画情報配信システムの改修による拡充】 吹田市都市計画マスタープランの基本理念を実現するため、立地適正化計画策定を行い、運用することで、市全体の都市再生を促進する。 令和3年度は、立地適正化計画策定から5年目の施策達成状況について、調査・分析・評価を行うとともに、法改正等への対応として、居住誘導区域への防災指針の追加及び都市機能誘導区域の見直し等を行った。併せて、居住誘導区域及び都市機能誘導区域の情報を公開するため、都市計画情報配信システムの改修を行った。		年度	R2	R3	評価の視点		
		決算額（千円）	0	4,719	※課題があるものは■		
		一般財源の比率（％）	0.0	54.5	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性		
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画の方向性・内容		
		施策の達成状況は概ね順調だが、コロナを経て施策指標の見直しが行われる可能性があるため、注視する必要がある。			継続		

	所管室課		事業名				
事業概要							
活動実績							
		年度	R2	R3	評価の視点		
		決算額（千円）			※課題があるものは■		
		一般財源の比率（％）			<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性		
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画の方向性・内容		

	所管室課		事業名				
事業概要							
活動実績							
		年度	R2	R3	評価の視点		
		決算額（千円）			※課題があるものは■		
		一般財源の比率（％）			<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性		
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画の方向性・内容		

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名